

## 自治体間の連携

こしま ゆみ  
小嶋 裕美

自民党



**問** 他自治体との共存なくして、本市の持続的な発展は望めない時代ですが、市長1期目の市政は内向きに終始してきた印象を強く持っています。2期目に入り、札幌広域圏（石狩支庁管内）や道内5中核都市の首長との協議を主導していますが、新幹線札幌延伸や丘珠空港問題などでは、関係自治体との連携を強化する必要に迫られてきました。市長は、これまでの自治体間連携をどう評価し、今後どのような基本認識を進めていくのですか。

# 市議会 動き

11月24日に招集された第4回定例会の中から、12月1日、2日、3日の代表質問の主な内容、最終日に議決された議案などについてお知らせします。なお、代表質問については、ホームページの録画中継でもご覧になれます。

## 観光戦略

ほんごう としぶみ  
本郷 俊史

公明党



**問** 今後、道内市町村からの観光客を増やす取り組みについて、どのように考えているのですか。

**答** 平成23年に完成する札幌駅前通地下歩行空間でのイベント実施や大型映像での観光情報発信、オータムフェストのような道産品イベントの充実を検討しています。さらに、道内中核都市と連携し、各市のホームページに新たに互いの観光情報の掲載を企画しているところです。

**問** 時計台や豊平館などの歴史的建造物を本市の新たな観光資源として発掘し、活用することについて、どのように取り組んでいくのですか。

**答** 歴史的な建物の発掘と見学を行っている「札幌建築鑑賞会」などと連携し、景観の優れた建物や庭園を観光資源として掘り起こし、紹介したいと考えています。

**答** 北海道全体の活性化に向けて、道内市町村と連携しネットワークを強化できたと感じています。また、東北新幹線沿線自治体との連携、浜松市や松本市との交流など、道外自治体との連携でも一定の成果が上げられました。今後も道内市町村と経済・観光分野などで連携し、道外自治体とも戦略的に連携していきたいと考えています。

**問** 区役所で自治体間連携に取り組んでいるのは、私の知る限りでは、北・厚別・手稲の3区だけです。厚別区では、江別市・北広島市との間でスポーツ交流大会や特産品販売などを行っています。このように、区役所の果たす役割にも大きいものがあるので、積極的に進めるべきです。市長は、区役所における自治体間連携の必要性と在り方についてどう考えているのですか。

**答** その他にも南区では喜茂別町と、白石区では登別市・宮城県白石市と連携しています。地域・住民の交流活性化のために、区における他自治体との連携が重要であり、引き続き取り組んでいきたいと考えています。

## 子どもの自立を目指した教育

はせがわ まもる  
長谷川 衛

民主党・市民連合



**問** いじめや不登校の背景は複雑になっており、解決には、学校と保護者、関係機関などと連携して取り組むことが必要です。最近では、家庭訪問の時間を十分に確保できない状況もあるようですが、学校と家庭が確固たる信頼関係を築くことが大切であり、両者が連携して教育を推進することについて、どう認識しているのか伺います。

**答** 社会の変化や価値観の多様化が進む中、子どもの健やかな成長のために、家庭と学校の連携を深める必要性は高まっています。各学校では、保護者との日常的な関わりや家庭訪問を通して共通理解を図りながら、対応をきめ細かに行うことが重要と認識しています。

**問** 子どもの権利条例の理念を生かして、これまでどのような取り組みを行い、成果が上げられてきたのですか。

**答** 公開授業や教員研修会を実施し、条例の理念を生かした指導の在り方について、理解を図ってきました。教員の意識の高まりとともに、道徳などの授業においても実践が進められるなどの成果が表れています。

**問** 各学校において行われている優れた実践を広く啓発し、子ども自身がさまざまな課題を解決していくことのできるような実践の広がりを期待しています。今後どのように推進していこうと考えているのですか。

**答** 今後は、「教育課程編成の手引」に子どもの権利に関する実践例を掲載し、具体的な取り組みについて働きかけていきます。また、子どもが自ら問題を発見し、考え、解決する力を育む取り組みも進めたいと考えています。